
テクノブラッドが新会社「TechnoBlood eSports」を設立

株式会社テクノブラッド（本社：東京都台東区、代表取締役：柳日栄 以下、テクノブラッド）は、近年のeスポーツ市場の盛り上がりを受け、市場の黎明期から取り組んできたeスポーツ事業にさらに注力し事業拡大することを目的に株式会社 TechnoBlood eSports を2021年4月1日に設立しました。

■新会社設立の目的

当社は2004年に当時の世界最大のeスポーツイベント「World Cyber Games」の日本予選を開催して以来、eスポーツビジネスに取り組んで参りました。

日本のeスポーツ市場は2018年にeスポーツ元年と謳われ、それ以来、大きな盛り上がりを見せています。その中、当社は2020年に国際eスポーツ連盟（IESF）とeスポーツ世界大会「World eSports League」を開催する契約を締結し、2021年より継続的に開催していきます。また、JR東日本スポーツ株式会社と提携し、2021年1月24日にJR東日本エキナカ初の常設eスポーツ施設「ジェクサー・eスポーツステーション」をJR松戸駅にオープンしました。今後、これらの新しい取り組みを発展させ、日本発のグローバルなeスポーツ展開を図ることを目的として、eスポーツ事業、及びその他コンテンツ関連事業を法人化し成長を加速させていきます。

<今後展開予定のプロジェクト>

●eスポーツ世界大会「World eSports League」

国際eスポーツ連盟（IESF）と提携し、加盟国の国家代表が世界一を決めるeスポーツ世界大会「World eSports League」を毎年継続して開催します。

「World eSports League」は“The Esports you making!”をスローガンにeスポーツファンとコミュニケーションを取り、ファンが参加でき、ファンに愛される世界的eスポーツイベントを目指します。



WSL 公式ホームページ : <https://wsl.gg/?lang=ja>

●e スポーツ施設開業・運営支援

JR 東日本スポーツ株式会社と提携しオープンした「ジェクサー・e スポーツ ステーション」の開業・運営支援のノウハウをもとに、これから開業が増えることが予想される e スポーツ施設の立ち上げから運営までの支援をワンストップで行います。

●e スポーツトーナメントプラットフォーム「PlayPot」

韓国の e スポーツプラットフォーム開発企業マンラボ社と提携し、2021 年上半期中に e スポーツトーナメントプラットフォーム「PlayPot (プレイポット)」をリリース予定。

「World eSports League」の推奨プラットフォームとして採用することで、グローバルな展開を図ります。

<テクノブラッドから新会社へ移管される事業>

- e スポーツ事業全般
- P C カフェ向けコンテンツ流通事業
- オンラインゲーム向けセキュリティ事業 (nProtect Game Guard)

■新会社概要

社名 : 株式会社 TechnoBlood eSports

設立 : 2021 年 4 月 1 日

代表 : 代表取締役 森島 健文

(株式会社テクノブラッド取締役 e スポーツ事業部 部長)

所在地 : 〒111-0051 東京都台東区蔵前 3-1-10 蔵前セントラルビル 6F

[TEL:03-5835-5867](tel:03-5835-5867)

事業内容：e スポーツ大会の企画・運営、e スポーツ施設の開業・運営支援、PC カフェ向けコンテンツ流通、オンラインゲーム向けセキュリティツール「nProtect Game Guard」の販売

■テクノブラッド会社概要

会社名：株式会社テクノブラッド

所在地：〒111-0051 東京都台東区蔵前 3-1-10 蔵前セントラルビル 6F

代表者：代表取締役 柳日栄

設立：1999年2月5日

事業内容：デジタルコンテンツに関わる総合事業

1. オンラインゲームのネットカフェ・e スポーツカフェパブリッシング

2. ネットカフェ・e スポーツカフェ向けソリューション販売、運営

3. e スポーツのイベント企画、運営

4. VR コンテンツプラットフォーム「バーチャルゲート」の企画、運営

URL：http://www.technoblood.com/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社テクノブラッド

電話番号：03-5835-5867

メールアドレス：event@technoblood.com

以上